

歌ノレノ래 158

## 『月打鈴』(タル ターリヨン)

山根 俊郎

### ★秋夕 当日の「歌謡舞台」

今年の韓国民族最大の名節である秋夕（チュソク・陰暦の8月15日）は、陽暦9月12日（月）であった。私が好きなKBSITVの懐メロ番組「歌謡舞台」（毎週月曜日夜10時から1時間放送）もドンピシャの秋夕の当日に放送だったので期待して見た。録画であったが、有名な民謡歌手が韓服を着て多数出演して祝賀ムードを盛り上げていた。

舞台セットは茅葺き農家に満月がかかっている。トップバッターは‘民謡の女王’金セレナ・김세레나が自分の大ヒット曲である新民謡『カプトリとカブスニ』(갑돌이와 갑순이 68年、元歌は39年『温突夜話』金茶人詞/全基弦曲/李秉漢・咸石草唄)を歌った。あれ？共演者が誰であろうと‘トリ’(フィナーレ)に固執する金セレナが最初に出てきたのは意外だった。しかし、立て続けに『草鞋をはいて来たよ』(차부기 신고왔네 67年東洋放送ラジオドラマ主題歌、俞湖詞/崔彰權曲、68年音盤発売)、南道民謡『ソンジュプリ』、『花打鈴』、『鳥打鈴』計5曲を歌い、踊り満足そうだった。次に登場したのが金富子(김·부자 김부자)。踊り子の横を勢いよく飛び出したりぶつかる？と驚いた。歌うのは御存じ新民謡『月打鈴』(タルタリヨン 달타령・72年シ・ソジ 신선지詞/吳ヨンウン오영원曲/金富子唄)である。この歌は軽快で客席にも大受け。金富子は続けて新民謡の傑作『ノドゥル江辺』(34年申不出詞/文湖月曲/朴芙蓉唄)を歌った。次に河春花(하·춘화 하춘화)が持ち歌の『靈岩アリラン』(ヨアムアリ란 영암아리랑 72年白岩詞/高峰山曲/河春花唄)だけを歌った。『よくやるね よくやるよ』(チャレックン チャレッソ 잘했군 잘했어 71年半月夜詞/高峰山曲/河春花唄)を歌えば良いのに！適当な相方がいなかったのか？大先輩2人に遠慮したのか？2009年に名古屋の朴燦鎬さんが韓国で出版された『韓國歌謡史』1、2を編集した大衆音楽評論家の李俊熙(イ・ジュニ・이준희)さんが2010年から「歌謡舞台 諮問委員」に就任したせいか今は曲名に「制作年」の表示があるのでとても助かる。



金富子の『月打鈴』(1972年オアシスレコード)

### ★最後の新民謡『月打鈴』

大衆音楽評論家の李俊熙さんは、ある番組で「新民謡は作者が判明しているため民謡と区別される」と定義した。また、「1950年代の新民謡は外国のリズムを導入したためにその寿命を縮めた」とも言う。私は、1972年の『月打鈴』が最後の新民謡と思う。70年代‘漢江の奇跡’と呼ばれる急激な産業化・経済成長で農村からソウルに向かう若者が増えてポップスやフォークなど西洋的な情緒に馴染んだためではないだろうか？一方、望郷・帰省モノの定番『故郷駅』(72年林鍾寿詞・曲/羅勲児唄)は玄哲(ヒョンチヨル 현철)が歌った。

『月打鈴』の作詞家シ・ソジ 신선지=神仙地？は無名である。作曲家吳ヨンウン오영원=吳英元？は、「マンモスレコードの作曲家’で羅勲児の歌を2曲作曲している。この歌は出だしに口伝童謡『月よ 月よ 明るい月よ』の(唐の詩人)‘李太白が遊んだ月よ’まで借用する。元歌は両親にりっぱな家を建てたい、という親孝行の内容である。1月から12月まで歳時記を数え唄にしているので韓国文化を容易く理解できる。

### ★新民謡歌手 金富子

金富子は、1947年2月5日生まれ、黄海道出身。1964年、満17歳で東亜放送のど自慢‘歌謡白日場’に入賞して歌謡界入りする。68年映画『八道妓生』主題歌でデビュー。トロット歌手として70年『あなたは渡り鳥』(터시멘치요르소 당신은 철새 故郷詞/南国人曲)、『一字上書』(이자상서 일자상서 半月夜詞/朴是春曲)がヒット。しかし、『愛はもう終わり』(라운 이거에 크만 사랑은 이제 그만 李湖詞・曲))が71年倭色歌謡で放送禁止となる。72年民謡歌手として『月打鈴』が大ヒットする。当時、同じ歳の金セレナ、曹美美(チョ・ミミ 조미미)らと‘民謡三銃士’と呼ばれた。2003年にはデビュー35周年アルバムを出し、2007年には40周年記念全国ツアー公演も行った。

## 『月打鈴』(タル ターリヨン)

달 타 령

신선지 작사  
오영원 작곡  
김부자 노래

1. 달 아 달 아 — 밝은 달 아 — 이 태 백 이 — 놀던 달 아 — —  
 2. 달 아 달 아 — 밝은 달 아 — 이 태 백 이 — 놀던 달 아 — —  
 3. 달 아 달 아 — 밝은 달 아 — 이 태 백 이 — 놀던 달 아 — —

정 월에 뜨는 저 — 달은 — 새 희 — — 망을 주 — 는 달 —  
 오 월에 뜨는 저 — 달은 — 단 오 — — 그 비 뛰 — 는 달 —  
 구 월에 뜨는 저 — 달은 — 풍 년 — — 가를 부르는 달 —

이 월에 뜨는 저 — 달은 — 동 유 두 주 밀 지 를 먹 — 는 달 —  
 유 월에 뜨는 저 — 달은 — 문 풍 끝 지 팔 죽 을 를 먹 — 바르는 달 —  
 시 월에 뜨는 저 — 달은 —

삼 — 월에 — 뜨는 — 달은 — 처 — 너 가 — 슴 을 — 태 우 는 달 —  
 철 — 월에 — 뜨는 — 달은 — 전 — 우 직 — 너 가 — 만 나 는 달 —  
 십 일 월에 — 뜨는 — 달은 — 봉 — 지 팔 — 죽 을 — 먹 — 는 달 —

사 월에 — 뜨는 — 달은 — 석 — 가 모 — 니 탄 생 한 달 —  
 팔 월에 — 뜨는 — 달은 — 강 — 장 그 수 월 래 — 뛰 — 는 달 —  
 십 이 월에 — 뜨는 — 달은 — 임 — 그 리 워 — 또 — 는 달 —

- I. 月よ 月よ 明るい月よ 李太白が遊んだ月よ  
 正月に昇るあの月は 新しい希望をくれる月  
 2月に昇るあの月は ドンドン酒を飲む月  
 3月に昇る月は 乙女の胸を熱くする月  
 4月に昇る月は お釧迦様が生まれた月
- II. 月よ 月よ 明るい月よ 李太白が遊んだ月よ  
 5月に昇るあの月は 端午にクネをこぐ月  
 6月に昇るあの月は 流頭ミル餅を食べる月

- 7月に昇る月は 牦牛と織女が会える月  
 8月に昇る月は カンガンスウォルレを踊る月  
 III. 月よ 月よ 明るい月よ 李太白が遊んだ月よ  
 9月に昇るあの月は 豊年歌を歌う月  
 10月に昇るあの月は 障子の紙を張り替える月  
 11月に昇る月は 冬至に小豆粥を食べる月  
 12月に昇る月は 恋人が恋しく昇る月
- (終)